


# 報道機関各位

令和元年（2019年）12月10日（火）15時00分 配付

項目	令和元年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会の開催について
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催要領</li> <li>・大会日程、発表者及び課題名</li> </ul>
内容及び報道に当たってのお願い	<p>○ オホーツク総合振興局では、管内農業の担い手である農村青少年が、日頃の実践活動を通じて習得した技術をお互いに発表しながら、問題の解決方法や発展方向を見出し、今後の農業・農村の振興に資することを目的として、農村青少年とともに、毎年青年農業者大会を開催しています。</p> <p>○ 本年は、次の日程で開催しますので、お知らせします。</p> <p>○ つきましては、農村青少年の育成のため、当日の取材と積極的な報道をお願いします。</p> <p>○ なお、成績優秀なグループは、令和2年1月28日～29日に札幌市で開催される全道大会（北海道青年農業者会議）に、管内代表として派遣される予定です</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日時 令和元年12月11日（水）11：00～16：00</p> <p>2 開催場所 端野町公民館 （北見市端野町二区471-11）</p> <p>3 主催 令和元年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会実行委員会 北海道オホーツク総合振興局</p> <p>4 後援 オホーツク農業協同組合長会 公益財団法人オホーツク地域振興機構 オホーツク管内指導農業者・農業者会 公益財団法人北海道農業公社</p> <p>5 参集範囲 農業青少年、農業者 農業研修生、農業実習生、指導農業者・農業者 各関係機関・団体の担い手育成担当者等 （出席予定：農業青少年 約70名、美幌高校 約5名）</p> <p>6 内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリメッセージ（1件）</li> <li>・プロジェクト発表（6件）</li> <li>・美幌高等学校による記念発表</li> <li>・表彰</li> </ul>
他のクラブとの関係	
担当窓口	<p>オホーツク総合振興局産業振興部農務課 課長 矢花 修          直通電話 0152-41-0660 内線2700          FAX 0152-44-0240</p> 

# 令和元年度オホーツク総合振興局管内 青年農業者大会開催要領

## 1 目 的

農業の担い手として、営農や生活の改善に努力している農村青少年が一堂に会し、日頃の実践活動を通じて習得した技術を互いに発表し、当面する問題の解決方法や発展方向を見出すことにより、今後の農業・農村の振興に資する。

## 2 主 催

令和元年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会実行委員会  
北海道オホーツク総合振興局

## 3 後 援

オホーツク農業協同組合長会  
公益財団法人オホーツク地域振興機構  
オホーツク管内指導農業士・農業士会  
公益財団法人北海道農業公社

## 4 開催日

令和元年（2019年）12月11日（水）

## 5 場 所

端野町公民館  
（北見市端野町二区471-11 電話 0157-56-2515）

## 6 日 程

別紙のとおり

## 7 参集範囲

農業青少年、農業者、農業研修生・実習生、指導農業士・農業士、各機関及び団体の担い手育成関係者等

## 8 内 容

### (1) アグリメッセージ

ア 今、考えていること、感じていること、体験したことを自分自身のメッセージで仲間へ伝え、青年農業者の果たす役割などについて参加者全員が考えることにより、地域における活動に役立てる。

イ 発表時間は、1人7分程度とする。(原則として質疑応答は行わない。必要に応じて全員の発表後、若しくは審査委員長の講評において感想をお願いします。)

### (2) プロジェクト発表

ア 次の部門いずれかにおいて、実践活動の成果を発表する。

(ア) 地域活動部門

(イ) 農産経営部門(飼料作物を除く)

(ウ) 畜産経営部門(飼料作物を含む)

イ 発表時間は1人10分以内、質疑応答時間は5分程度とする。

ウ 発表上の留意事項

(ア) 発表に当たり、課題を取り上げた動機、プロジェクトの内容、これまでに行った改善事項、現在直面している問題点、今後の改善計画などを明らかにした発表をすること。

(イ) 発表課題は、内容にあった具体的なものとする。

(ウ) 発表に模造紙を使用する場合は、模造紙2枚を張り合わせて1枚とカウントし、5枚以内とする。

(エ) スライドやOHPを使用する場合は、公民館・振興局等の備品を使用するが、特別に必要な場合は各自持参すること。(振興局農務課、普及センターと相談すること)

(カ) パソコンを使用する場合は、必ず事前にファイルのウイルスチェックを行うこと。データの最大容量は制限しないが、容量が大きすぎると立ち上がりに時間がかかる等スムーズな進行に支障をきたす恐れがあるので注意すること。

エ プロジェクトの発表資料(1課題につきA4サイズ2ページまで)を当日180部提出すること。

### (3) 美幌高等学校による記念発表

「やさしい牛舎を求めて」

### (4) 表彰式・審査講評

アグリメッセージ及びプロジェクト発表の受賞者を表彰する。

表彰後、審査会における審査の経過や今後の活動にあたっての課題・改善点等について、審査員より審査講評を行う。

## 9 表 彰

### (1) 個人賞

別に定める審査基準に基づき審査を行い、次のとおり賞を付与する。

- ① プロジェクト発表各部門及びアグリメッセージの最優秀者（各1名）を決定し、賞状を授与する。
- ② プロジェクト発表各部門及びアグリメッセージの優秀者（各1名）を決定し、賞状を授与する。
- ③ 最優秀賞、優秀賞それぞれの受賞者に、記念品を授与する。

## (2) 全道大会への派遣

最優秀賞受賞者のうち、別に定める審査方法に則り全道大会への派遣を決定し、令和2年1月28日～29日に札幌市で開催される「令和元年度北海道青年農業者会議」に派遣する。

## (3) 記念発表

記念発表を行う美幌高等学校及に対して、参加記念品を授与する。

## 10 発表申込

発表希望者は、11月26日（火）までに農業改良普及センターに発表ごとの参加申込書を提出すること。

農業改良普及センターは発表者を取りまとめ11月27日（水）までに総合振興局農務課に報告すること。

## 11 参加申込

参加希望者は、12月2日（月）までに農業改良普及センターに申し込むこと。

農業改良普及センターは参加者を取りまとめ12月3日（火）までに総合振興局農務課に報告すること。

## 12 参加費

無料

## 13 その他

- (1) 参加者は、12月11日（水）11時までに、受付を済ませてください。
- (2) 発表者は、開会前に機材等のリハーサルを行いますので、会場の指示に従ってください。
- (3) 自家用車で大会参加は安全運転に努め、指定の場所に駐車してください。



## 大会日程

10:30～11:00	受付
11:00～11:15	開会式 ・主催者挨拶 オホーツク総合振興局 産業振興部長 牧野 充 ・オリエンテーション
11:15～11:30	アグリメッセージ 1件
11:30～11:35	舞台準備
11:35～11:55	プロジェクト発表 地域活動部門 1件
11:55～12:55	昼食
12:55～14:35	プロジェクト発表 農産経営部門 3件 畜産経営部門 2件
14:35～14:50	舞台準備
14:50～15:05	高校生による記念発表 (美幌高等学校)
15:05～15:25	休憩
15:25～15:55	表彰式・閉会式 ・表彰 オホーツク総合振興局産業振興部長 牧野 充 ・講評 網走農業改良普及センター 石川 卓治 ・閉会式 青年農業者大会実行委員長 如澤 厚





## 発表者及び課題名

### アグリメッセージ

経営形態	氏名	年齢	就農年数 (研修年数)	クラブ名	タイトル
畑作	1. 浅井 雅志	26	6年	清里町プライズクラブ	農業経営者は 政治家のようなものである

### プロジェクト発表

区分	経営形態	氏名	年齢	就農年数	クラブ名	タイトル
地域活動 部門	酪農	1. 堀江 周平	22	2年	遠軽町青少年クラブ	～食育活動～子ども達に食を通じ、農業を知ってもらう
農産経営 部門	畑作	1. 寺島 是如	27	5年	清里町プライズクラブ	小麦のうまみ引き出す 良品質生産を目指して
	畑作	2. 久世 達也	25	3年	常呂町4Hクラブ	ゆめちからの安定した 多収を目指してII
	畑作	3. 小崎 光	30	7年	上湧別コミットクラブ	未来にコミットする！ タマネギ直播栽培編～第二幕～
畜産経営 部門	酪農	1. 岡田 拓也	34	13年	遠軽町青少年クラブ	哺育育成Project Final ～令和最初のプロジェクトは…～
	酪農	2. 樋口 聖哉	36	6年	湧別町4Hクラブ	みんなで経営力を高めたい！ PART2～2年間の哺育牛体測から 学んだこと～

### 高校生による記念発表

高校名	氏名	タイトル
美幌高等学校	吉成 藍 菅原 夢花	やさしい牛舎を求めて

